

論点整理 (意識調査と課題)

2 意識調査結果

男女共同参画に関する市民意識調査・事業所アンケート調査
調査期間：令和3年12月1日～12月20日

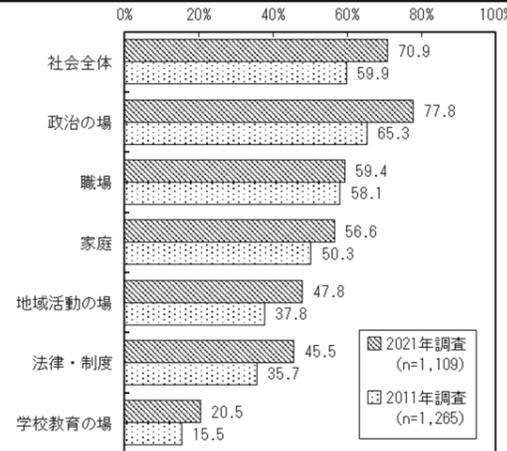
(1) 男女の地位の平等感

【調査結果】

- ・社会の様々な分野における男女の地位の平等感をみると、「政治の場」、「職場の中」、「家庭の中」、について“男性が優遇”との見方が50%を超えている
- ・社会全体で”男性が優遇”であると回答した者の割合は70.9%となっている。
- ・全ての分野において、“男性が優遇”と感じている人が2011年の調査より増加した。

【課題】

- ・ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）による固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発が必要



※表中の割合は調査票選択肢「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合計したものである

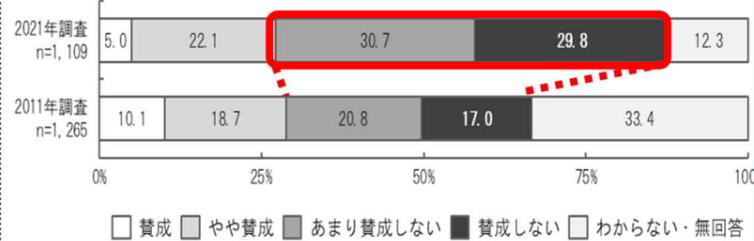
(2) 性別役割分担意識について

【調査結果】

- ・「男は仕事、女は家庭」という考え方について、“あまり賛成しない” “賛成しない”と回答した人は60%を超え、前回調査より22.7ポイント増加している。

【課題】

- ・約30%が“賛成”と回答しており、依然として性別役割分業意識は根強く存在している。意識改革のための啓発が必要。

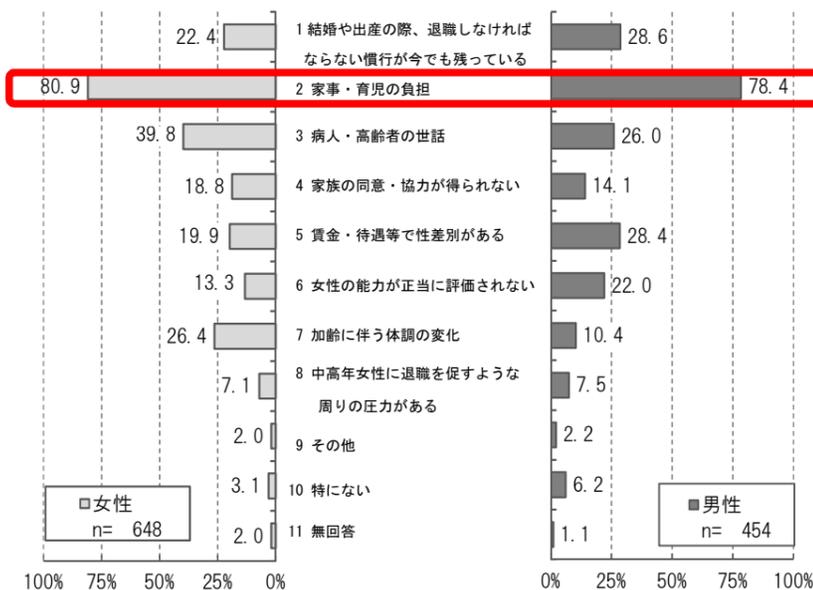


(3) 女性の就業について

【調査結果】

- ・女性が職業を続けていく上での障害は、男女ともに「家事・育児の負担」が最も高く、女性80.9%、男性78.4%である
- ・「加齢に伴う体調の変化」は女性(26.4%)が男性(10.4%)より16.0ポイント、「病人・高齢者の世話」は女性(39.8%)が男性(26.0%)より13.8ポイント高くなっている。

【課題】 仕事と家事・育児・介護が両立できる環境の整備が求められる

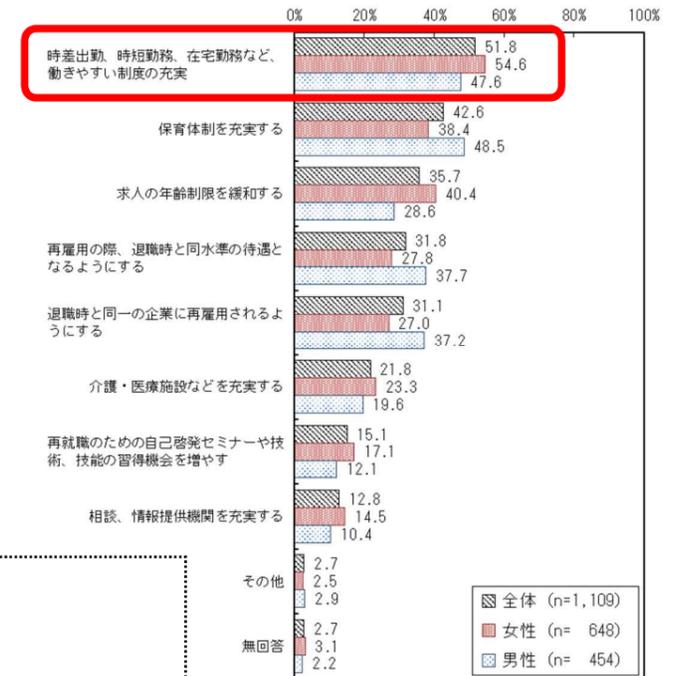


【調査結果】

- ・いったん離職した女性が再就職や起業にチャレンジするために必要なことは、「時差出勤、時短勤務、在宅勤務等働きやすい制度の充実」が51.8%で最も高く、次いで「保育体制を充実する」(42.6%)、「求人の年齢制限を緩和する」(35.7%)となっている。
- ・性別にみると、「求人の年齢制限を緩和する」は、男性に比べ女性が11.8ポイント高くなっている。また、「退職時と同一の企業に再雇用されるようにする」「再雇用の際、退職時と同水準の待遇となるようにする」は、女性に比べ男性が10ポイント前後高くなっている。

【課題】

- ・労働条件の改善や再就職支援など、女性が離職せずに働き続けることができるよう、さまざまな環境整備が必要である。



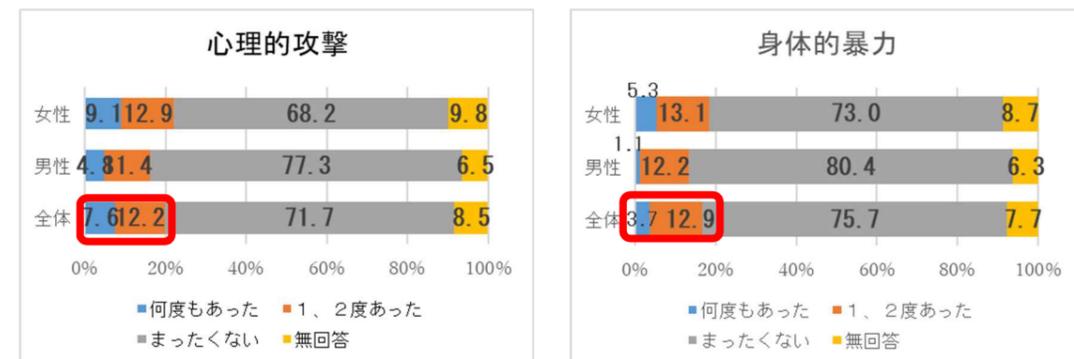
(4) DVについて

【調査結果】

- ・既婚者が配偶者からの暴力行為を受けた経験について、「心理的攻撃」は約5人に1人、「身体的暴力」は約6人に1人が「あった」としている。
- ・配偶者からの暴力を受けた経験のある人の約70%はどこにも相談しておらず、その理由として「相談するほどのことではないと思った」をあげる人が半数近くを占める。

【課題】

- ・被害の当事者だけでなく、DVの発見時の通報なども含めた対処方法を広く普及していくとともに、相談機関の周知を図る必要がある。



(5) 事業所における男女共同参画の現状

【調査結果】

- ・男性従業員の育児休業取得率は、10%強となっており、取得が進まない理由として、「業務を代替できる体制にない」をあげる事業所が多い。

【課題】

- ・「業務の属人化」の解消など、男性の育児休業を促進する職場環境の整備が必要

